

吹田市「公共交通に関するアンケート調査」ご協力をお願い

平素から本市政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

吹田市では令和4年度(2022年度)から、市民・交通事業者・行政が一体となって、持続可能で利便性の高い公共交通ネットワークの実現に向けた取り組みを進めています。現在は、これらの取り組みの進捗をふまえ、アフターコロナにおける公共交通の利用実態や市民ニーズを把握するとともに、「吹田市公共交通維持改善計画」の中間見直しを進めています。

このアンケート調査は、今後の公共交通施策の展開における貴重な資料として活用するため、市民の皆様のご公共交通の利用状況や、公共交通に対する意識等をお伺いするものです。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

なお、本アンケート調査は、吹田市にお住いの15歳以上の方から無作為に6,000名を抽出し配布しております。ご記入いただいた内容は、すべて統計的に処理し、調査の目的以外に利用することはありません。

～ ご記入についてのお願い ～

【アンケートの回答期限】令和7年●月●日

【アンケートの回答方法】「郵送」または「インターネット」

※どちらか一つの方法で、投函もしくは送信してください。

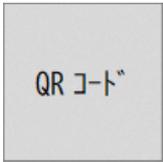
【郵送による回答の方法】

- ・回答は、送付した封筒のあて名のご本人についてお答えいただきますが、ご家族の方などがご本人の代わりに回答いただいてもかまいません。
- ・回答にあたっては質問をお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。その他欄には、具体的な内容をご記入ください。
- ・調査票記入後は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに令和7年●月●日(●曜)までにポストへ投函してください。なお、封筒にご住所・お名前を記入いただく必要はありません。

【インターネットによる回答の方法】

- ・以下のURLまたはQRコードから専用ウェブサイトアクセスし、ご回答ください。

<https://>

QRコード

【調査についてのお問い合わせ先】

吹田市 土木部 総務交通室 担当：●●・●●

住所：〒565-0855 吹田市佐竹台1丁目6-3 (総合防災センター7階)

電話：06-6155-3531 / FAX：06-6872-1652

メールアドレス：s-koutu@city.suita.osaka.jp

調査ホームページ：<https://www.city.suita.osaka.jp>

※ホームページから、調査票のテキストファイルをダウンロードできます。

公共交通に関するアンケート調査票（案）

1 あなたご自身のことについてお尋ねします。

問1 あなたご自身について、項目ごとにご回答ください。(それぞれ1つに○。④は郵便番号記入)

①性別	1.男性	2.女性	3. 回答しない	
②年齢	1.15～19 歳	2.20 歳代	3. 30 歳代	4. 40 歳代
	5. 50 歳代	6.60～64 歳	7. 65～74 歳	8. 75 歳以上
③職業	1.会社員・公務員	2.自営業・自由業	3.パートアルバイト	4.専業主婦(主夫)
	5.学生	6.無職・その他		
④お住まいの郵便番号	-			
⑤運転免許	1.運転免許あり(車・バイクを運転する)		} 運転免許ありの方(いずれかに○) ・ 返納について検討している ・ 返納について検討していない	
	2.運転免許あり(車・バイクを運転しない)			
	3.運転免許なし			
⑥移動状況	1.一人で不自由なく移動できる		2.介助者とともに移動している	
	3. 歩行補助具(杖、クラッチなど)を利用して1人で移動している			
	4.その他()			

2 普段のお出かけについてお尋ねします。

問2 あなたが外出する主な目的を選択してください。(3つに○)

1.通勤	2.通学	3.買い物	4.通院
5.業務(出張等)	6.飲食・娯楽	7.観光・レクリエーション	8.習い事・趣味
9.送迎	10.その他()		

問3 上記で選んだ3つの目的のうち、頻度の多い順に、それぞれ「頻度」と「移動手段」をお答えください。(目的は問2の番号を記載、頻度はそれぞれ1つに○、移動手段は複数選択可)

目的1 ⇒ _____ 頻度 : ①週5日以上 ②週3～4日 ③週1～2日 ④月に数回 ⑤年に数回 移動手段: ①鉄道・モノレール ②路線バス ③送迎バス ④タクシー ⑤自動車 ⑥原付・バイク ⑦自転車 ⑧徒歩 ⑨その他()
目的2 ⇒ _____ 頻度 : ①週5日以上 ②週3～4日 ③週1～2日 ④月に数回 ⑤年に数回 移動手段: ①鉄道・モノレール ②路線バス ③送迎バス ④タクシー ⑤自動車 ⑥原付・バイク ⑦自転車 ⑧徒歩 ⑨その他()
目的3 ⇒ _____ 頻度 : ①週5日以上 ②週3～4日 ③週1～2日 ④月に数回 ⑤年に数回 移動手段: ①鉄道・モノレール ②路線バス ③送迎バス ④タクシー ⑤自動車 ⑥原付・バイク ⑦自転車 ⑧徒歩 ⑨その他()

3 鉄道・モノレールについてお尋ねします。

問4 鉄道・モノレールの満足度をお答えください。(1つに○) ※鉄道・モノレールを利用されない方⇒問7へ

- | | | | | |
|------|--------|------|--------|------|
| 1.満足 | 2.やや満足 | 3.普通 | 4.やや不満 | 5.不満 |
|------|--------|------|--------|------|

その理由をご記入ください。(自由記入)

--

問5 鉄道やモノレールは路線バス・タクシーや、自転車・シェアサイクルなどの多様な交通手段との乗り換え地点となっています。以下の項目で充実してほしいと思うものを選択してください。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1.バスとの乗り換えのしやすさ | 2.タクシーとの乗り換えのしやすさ |
| 3.鉄道との乗り換えのしやすさ | 4.自転車駐車場の整備 |
| 5.シェアサイクルポートの設置 | 6.バリアフリールート複数化※ |
| 7.特にない | 8.その他() |

※バリアフリールート複数化の例:江坂駅では、路線バスやタクシーへの乗換えをしやすくするため、令和7年3月に駅北口へエレベーターを設置しました。

問6 駅舎の利用環境について、充実してほしいものを選択してください。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1.ホームドア(可動式ホーム柵)の設置 | 2.ベンチや休憩スペースの充実 |
| 3.エレベーターの設置 | 4.エスカレーターの設置 |
| 5.トイレの機能充実 | 6.わかりやすい案内表示 |
| 7.特にない | 8.その他() |

4 路線バス・すいすいバスについてお尋ねします。

問7 自宅から最寄りのバス停はご存じですか。

- | | |
|-------|---------|
| 1.わかる | 2.わからない |
|-------|---------|

⇒ バス停名称()

「1.わかる」と回答された方はバス停名・バスの行先をご回答ください

バスの行先()

問8 路線バスの満足度をお答えください。(1つに○) ※路線バスを利用されない方 ⇒ 問9へ

- | | | | | |
|------|--------|------|--------|------|
| 1.満足 | 2.やや満足 | 3.普通 | 4.やや不満 | 5.不満 |
|------|--------|------|--------|------|

「4.やや不満」「5.不満」と回答された方は、理由をお答えください。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1.運行本数が少ないから | 2.運行ルートが不便だから |
| 3.時刻通りにバスが来ないから | 4.時刻表・路線図がわかりにくいから |
| 5.始発時間が遅いまたは終発時間が早いから | 6.バスが乗り降りし難いから |
| 7.バス停が狭いから | 8.バス停にベンチや屋根がないから |
| 9.バスの乗り継ぎが悪いから | 10.運賃を負担に感じるから |
| 11.運転手の対応が悪いから | 12.その他() |

問 9 吹田市で運行している「すいすいバス」の利用状況についてお答えください。(1 つに○)

- | | |
|-------------|---------------------------|
| 1.現在、利用している | 2.過去に利用したことはあるが、今は利用していない |
| 3.名前のみ知っている | 4.知らなかった(このアンケートで初めて知った) |

問 10 前の質問(問 9)で「2.過去に利用したことはあるが、今は利用していない」「3.名前のみ知っている」を選んだ方は、利用していない理由をお答えください。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1.利用する機会がないから | 2.運行ルートが不便だから |
| 3.運行本数が少ないから | 4.始発・終着時間が短いから |
| 5.バスの乗り継ぎが悪いから | 6.運賃を負担に感じるから |
| 7.車・自転車・徒歩で十分だから | 8.利用方法や時刻表がわかりにくいから |
| 9.その他() | |

5 タクシーについてお尋ねします。

問 11 タクシーの利用頻度をお答えください。(1 つに○)

- | | | |
|----------|------------|------------|
| 1.週に5日以上 | 2.週に3~4日程度 | 3.週に1~2日程度 |
| 4.月に数回程度 | 5.年に数回程度 | 6.利用していない |

問 12 タクシーの満足度をお答えください。(1つに○) ※タクシーを利用されない方 ⇒ 問 13 へ

- | | | | | |
|------|--------|------|--------|------|
| 1.満足 | 2.やや満足 | 3.普通 | 4.やや不満 | 5.不満 |
|------|--------|------|--------|------|

問 13 どうなれば、もっとタクシーを利用しますか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|---|--------------------|
| 1.わかりやすい利用案内(タクシー乗場の案内表示、運賃目安の表示、連絡先一覧など) | |
| 2.タクシー乗場の環境改善(屋根・ベンチ設置など) | 3.誰もが乗り降りしやすい車両の導入 |
| 4.運賃等のサービス水準の維持または向上 | 5.待ち時間の短縮 |
| 6.利用する必要がないから今後も利用しない | 7.現状で満足 |
| 8.その他() | |

6 公共交通全般についてお尋ねします。

問 14 普段の生活において、路線バスで行きたい・行けるようになるとよい施設をご記入ください。
※新しくできる予定の施設でも結構です。(自由記入)

	行きたい具体的な施設名	
市内	(施設名)	(施設名)
近隣市町	(施設名)	(施設名)

問 15 現在、バス業界では、少子高齢化や労働条件の厳しさ、若年層の業界離れなどにより、バス運転士の不足が深刻化しています。そのため、採算に関係なく、やむを得ず路線バスの減便や廃止が行われるケースも出ています。こうした状況について、どの程度ご存じですか?(1 つに○)

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1.内容をよく知っていた | 2.聞いたことがある程度 | 3.まったく知らなかった |
|--------------|--------------|--------------|

問 16 運転士の不足に加え、利用者数の減少や燃料費の高騰などの影響により、路線バスやタクシーなどの公共交通サービスを将来にわたって安定的に維持することが難しくなっています。こうした状況の中で、路線の維持やサービス確保のために、一定の公的負担(税金など)を行うことについて、あなたの考えをお答えください。(1つに○)

- 1.路線維持が困難になった場合は、市の負担により運行を維持すべき
- 2.路線維持が困難になった場合は、運行サービスを縮小すべき
- 3.わからない

問 17 公共交通の維持のために、あなたが協力できることは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- 1.車利用を控えるなど、今までより積極的に公共交通を利用する
- 2.交通事業者による経営健全化(運賃値上げ・輸送サービス見直し)の取組への理解を深める
- 3.家族や友人などに公共交通の現状を共有し、利用を勧める
- 4.駅やバス停などの清掃や管理などの協力を努める
- 5.現時点では特に思いつかない
- 6.その他()

問 18 地域あるいは市の負担があったとしても、あなたのお住いの地域に必要なと思うモビリティサービス(※案内文裏面参照)はどれですか。(あてはまるもの全てに○)

- 1. AI オンデマンド交通
- 2. ライドシェア
- 3. グリーンスローモビリティ
- 4. 自動運転移動サービス
- 5. 地域自主運行バス・タクシー(地域コミュニティ交通)
- 6. 特にない

問 19 あなたがお住いの地域における公共交通全般の満足度をお答えください。(1つに○)

- 1.満足
- 2.やや満足
- 3.普通
- 4.やや不満
- 5.不満

その理由をご記入ください。(自由記入)

問 20 吹田市の公共交通に関するご意見などがありましたらご記入ください。(自由記入)

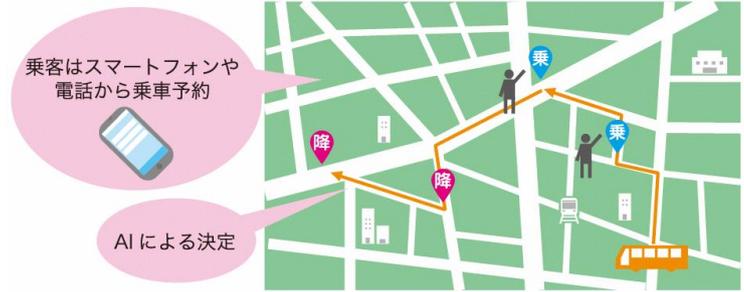
質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

新たなモビリティについて(問 18 参考資料)

1. AI オンデマンド交通

スマートフォンや電話などで呼ぶと、希望の時間や場所に応じて運行される乗合型の移動サービスです。AI が予約をもとに最適なルートを計算し、効率的に運行します。

(画像：国土交通省「日本版 MaaS の推進-基盤整備の推進」資料)



2. ライドシェア

タクシー事業者の管理の下で、自家用車を使って、一般の方が有料で他人を目的地まで送迎するサービスです。スマートフォンのアプリなどで配車し、タクシーと同様に利用できます。

(画像：国土交通省「公共ライドシェアと日本版ライドシェア」一部加工)



3. グリーンスローモビリティ

電動で低速(時速 20km 未満)に走る環境にやさしい車両を活用した小さな移動サービスです。高齢者などの移動支援に活用されており、地域の移動をきめ細やかに支える手段です。

(画像：島根県松江市取り組み事例写真(環境省資料))

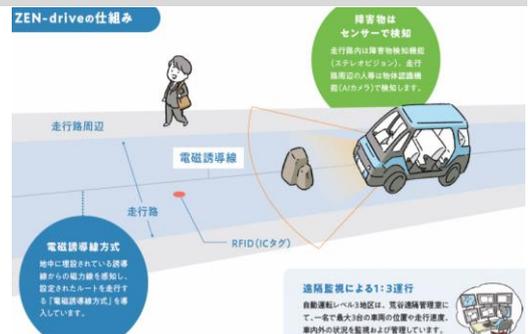


4. 自動運転移動サービス

ドライバーがいなくてもセンサーや AI でバスやタクシーなどの車両が自動的に走行するサービスです。

実証実験や限定エリアでの運行が全国各地で進められています。

(福井県永平寺町 ZEN-drive 資料)



5. 地域自主運行バス・タクシー(地域コミュニティ交通)

地域住民や団体が担い手となり、買い物や通院などのために運行する移動支援サービスです。吹田市においても導入支援として「地域コミュニティ交通導入ガイドライン」を策定しています。

